



しおかぜ



発砲材を使って受けの稽古

工夫し修練!

新型コロナウイルスの感染状況は、東京都内では減少傾向となりましたが、宮城県内は最近10名前後を推移しており、9月11日は過去最多の15名でした。まだまだ予断を許さない状況です。

道院の新型コロナウイルス対応については、変わりありません。三密を避け「検温とこまめな消毒」そして「マスク着用と離れて修練」です。そんな中で修練方法を工夫しています。また、離れての修練にはなりますが出来るだけ抜き技・逆技等の柔法も行い、昇級昇段を目指して修練しています。コロナに負けずのり切りしましょう。

大澤隆管長 縁起

今年の夏は、命に係わる危険な暑さから身を守りながら、新型コロナウイルスの感染を防ぐために帰省や旅行を控えるなど、例年とは違う過ごし方をされた方も多いのではないのでしょうか。それでも少しずつ季節は移ろっていきますので、新しい季節に向け、私達も心と体を順応させていきましょう。



さて、9月1日は防災の日です。ここ数年で、震災や豪雨など甚大な被害をもたらす災害は「忘れたころにやってくる」ものではなく、「忘れる間もなくやってくる」ものに変化しており、常日頃からの備えが必要になっていきます。宗昂馬師家は月刊誌『致知』9月号の「私の座右の銘」のインタビューで「備えあれば患いなし」と説かれています。私達、金剛禅門信徒にとっての「備え」は

日々の修行にあるといっても過言ではありません。内修により判断力、胆力、平常心といった精神力を、外修により免疫力、体力、行動力を養い、いざというとき、いつでもそれらが使える状態に整えておきます。

何かあつたときに、人に言われて動くのではなく、自分でできることを探し、自分から動くことが大事です。もちろん一人一人の力には限りがあります。しかし、それぞれが持つ知恵と力を結集することにより人は街や社会を作り、文明を築き、世の中を発展させてきました。おそらく開祖は、戦時中の体験から、人間一人の力には限界があることを知っていたからこそ、日頃から人と協力し連帯しあえる生き方を説かれていたのでしょう。そのことを私達は鎮魂行、特に信条の4つの項目で唱え、皆で誓い合っています。



今後の予定

- ◎ 9月25日(金)18:00～19:00 塩竈教区昇級試験(塩竈道院専有道場)
- ◎ 9月25日(金)19:00～21:00 塩竈教区僧階取得勉強会・中止
- ◎ 9月27日(日)17:00～19:30 有段者会(塩竈道院専有道場)・来月に延期
- ◎ 10月23日(金)18:00～21:00 塩竈教区昇級試験・僧階取得勉強会(塩竈道院専有道場)
- ◎ 10月25日(日)16:00～18:00 有段者会(塩竈道院専有道場)

現在、地域によっては道院に集まること
ができないところもあると思います。人と
人との触れ合い、温かみは言うまでもなく、
そもそもの人との交流がストップしてしま



間隔を充分にとって稽古

えば、私達の結集する力もなくなってしま
います。門信徒同士のつながりを保つ工夫
集まることのできる場合には安心して修練
できる環境づくりをしながら、どうにか道
院活動を継続していただきたいと思えます。
私達の運動の源は人であり、皆様一人一人
にかかっています。

私達の団体も今後の社会を見据え、秋以
降の本山行事はオンラインも活用しながら
行うなど、新しいものを取り入れつつ、社会
の変化と自然界の変化に対応していきたい
と考えています。「理想境は、自分達でつく
る」という強い気持ちをもって、今月も共に
金剛禅運動に邁進していきましょう。

中国古典 紹介

「君子くんしんもつ以て事なを作すには始めはかを謀る」

を掲載 『易经』

われわれ日本人は、「走り出してから考
える」といわれる。「とのかくバスに乗り遅れ
るな」というわけであろう。こういう「先制
速攻」型には、むしろ大きなメリットがある。
なんといつでもその行動力・機敏な対応能
力は評価されなければならない。

しかし、マイナスもある。情勢のまにまに、
右へ走ったり左へ走ったり、たえず試行錯誤
を強いられることだ。その結果、労多くして

功少なしということにもなりかねない。
そういうマイナスを指摘したのが、「こと
を作すには始めを謀る」である。スタートす
るまえに、よく調査研究し、計画を練りあ
げるといふことだ。これをしっかりとるかか
れば、不測の事故やトラブルを最小限度に
抑えることができるのだという。

思うに、何をするにしても、①十分に練
りあげられた事業計画、②機敏な対応能
力、の二面を必要とする。これを併せ持つ
た者が勝ち残るといふことだ。



接触せずに相対演練